



発行日 令和元年6月21日



No. 3

伝統と憧れ そしてチャレンジ！

～人は憧れを持つことによって伸びる機会(チャンス)を得る～

校長 宮 居 伝

本校、そして本校の子どもたちの姿を見ていると、「伝統と憧れ そしてチャレンジ！」という言葉が浮かんできます。

伝 統

本校は今年度、創立106年目を迎える歴史と伝統のある学校です。地域の皆さまのご協力やご支援、地域の教育力によって、教育活動が脈々と支えられてきた学校です。今の能登川南小学校があるのは、地域の皆さまのおかげであると言っても過言ではないと感じています。

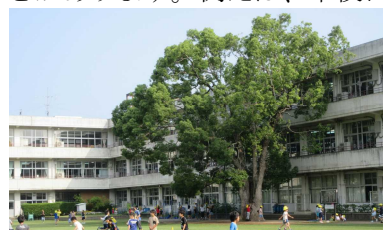
この長い歴史とともに、今の子どもたちの姿を見る時にも伝統を感じることがあります。例えば、本校にお越しいただいた多くの教育関係者の方々からいただく言葉のなかに、次のようなものがあります。

「書くことに抵抗の少ない子どもが多いですね。学習のふり返りやまとめを自分なりに何らかの言葉で文にしようとする子どもが多いことに驚きます。」

「外遊びの好きな子どもの多さにびっくりです。朝から、たくさん子どもたちが運動場に出て遊んでいますね。中休みや昼休み、運動場に子どもたちのにぎやかな声が聞こえうれしかぎりです。」

このような声を聞く時、私の願う「よく学び よく遊べ」と重なる姿があり、たいへん喜んでいました。

しかし、このような姿は、これまでの諸先輩方の取組があつてのことであり、ここ数年でできるようになったものではありません。そしてまた、それらを守り続け、子どもたちの良き姿を継承・発展させようとしてきた成果であるとも思っています。まさしく、教育活動における伝統であると感じています。



能登川南小学校のシンボルくすのき

憧 れ

小学校生活の6年間は、人生のなかでかけがえのない時期であることは言うまでもありません。「ひらがな」の習得から始まる小学1年生が、わずか6年間で著しい成長を遂げる時期です。このような時期、小さな学年の子どもたちは、高学年、とりわけ6年生の活躍や取組に憧れを持ちます。そして、6年生の子どもたちもまた「憧れの6年生」になろうと、精一杯の努力をし、素晴らしい成長、姿を示してくれます。

このような姿は、低学年の子どもたちや来校いただいた方々からの言葉からも実感することができます。例えば、本校では毎年、学級対抗の大縄跳びに挑戦しますが、低学年の子どもたちは、回数の多さだけでなく、学級の仲間がひとつとなり練習し挑戦していく高学年の子どもたちの姿に心を動かされ、「すごい！ぼくらも跳んでみたい！」という憧れを抱きます。

また、音楽集会での高学年の子どもたちの迫力ある合奏や素敵な歌声は、多くの参観者に、言葉では言い表せないほどの感動を与えてくれます。



音楽集会2019

「人は憧れを持つことによって伸びる機会(チャンス)を得る」と言われることがありますが、このような子どもたちの頑張りをみる時、この言葉を実感します。子どもたちに、いつも呼びかけている「やってみよう！できそうだと感じたら、まずやってみよう！」を、引き続き大切にし、日々の教育活動にあたりたいと考えています。

良き伝統は築いていくもの、憧れは抱きチャレンジするもの、そして、そのための意欲は育てていくもの…、子どもたちへの励まし、引き続きの学校へのご支援ご協力を、よろしくお願いいたします。